



おおしろ せいいち 大城 誠一 議員

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

練習試合や大会への引率の権限を有する身分としては会計年度任用職員となる。指導員の報酬は1時間1,010円。勤務時間は月44時間以内、平日2時間以内の3日。週休日等は3時間以内の1日で、週11時間程度を目安とする。

この事業は、経済的に困窮する若者が技能訓練により資格を取得し、安定した職に就き経済的に自立すれば、貧困の解消や失業率の改善において有効性が期待できる事業だと考えている。先行している市から情報収集を行っており、本町において導入が可能か検証している。

若者就業支援プログラム補助事業の導入について

この補助金は、一般社団法人沖縄産業開発青年協会青年隊へ入隊される者へ、資格所得のための受講及び実技指導等に要する費用を補助するもので、沖縄市では、生活保護世帯や市民税非課税世帯に属する者等へ費用

中学校部活指導員配置事業

今年度新規事業として、この事業が始まるが、事業の詳細は。

部活動指導員は、部活動での技術指導はもとより、安全、けがの予防指導も担う。そして学校外での

今年度新規事業として、この事業が始まるが、事業の詳細は。

給食費の無償化について

県市長会会長は総会で「知事が昨年公約とした学校給食費無償化を2023年度から実現するよう要請する決議を全会一致で可決」した。子育て支援に地域格差が生じないように全県一応の対応についても注目している。我が町においても町長や教育長に全力で学校給食無償化の実現に向け取組んでもらいたい。



なか まつ とも 仲松 勤 議員

国道329号線西原バイパスの整備に伴い、企業の移転先確保に向け、工業用地拡大の予定エリアを問う。都市整備課長 沖縄県土地開発公社と連携し整備を検討している、拓南製鐵の裏手から小那覇マリントウン線当たりまでの18・4haを予定検討している。

火葬の待機日数長期化に対応するため、議会でも火葬場建設に伴う委員会が設置・開催されている。建設までの課題を問う。町長 火葬場建設の検討に必要な基礎資料の調査に取組み、待機日数の長期化の解消策を優先に模索していきたいと考えている。

でもらいたい。

県知事への要請について町村会のような組織で行うことがより強い要請になると考える。

「浦添西原線翁長地区」「国道329号内間・掛保久地区」「小波津・桃原・安室地区」「兼久地区」についてこれまでの状況や土地活用予定について、道路計画・宅地開発計画を問う。

基本道路に接続しているのでもその用途に見合った建設が可能になる、店舗や事務所、住宅建設が進むと考える。

新たな土地開発で町づくりを

那覇広域都市計画用途地域の変更に伴い宅地開発等の早期推進を強く要望する。「那覇北中城線沿道幸

小那覇兼城原・仲伊保原の道路拡充・排水事業についての推進状況を問う。建設部長 令和5年度予算に道路概略設計費を計上しており、道路のルート・幅員・構造の案を検討していく。その他の質問 ○沖縄振興特定事業推進獲得について ○教育環境の充実について



いなんせ斎苑



南斎場

議員視察団受入

大分県佐伯市議会議員団視察研修



令和5年2月7日、大分県佐伯市の議会議員の行政視察がありました。視察内容は、農水産物流通・加工・観光拠点施設「西原さわふじマルシェ」について。整備の経緯や予算、管理運営の状況等について説明しました。

西原町議会事務局のホームページへようこそ!



http://www.town.nishihara.okinawa.jp/diet/question.html



西原町議会のホームページでは、議会の仕組みや議員紹介等をはじめ、各議員の一般質問を動画で見することもできます。また、定例会や臨時会の日程や内容、結果など、さまざまな議会の情報がいっぱい!ぜひご覧ください!

令和5年度 一般会計予算

歳入歳出総額 131億3,000万円

令5年度 特別会計予算(3会計)

歳入歳出総額 48億9,078万円



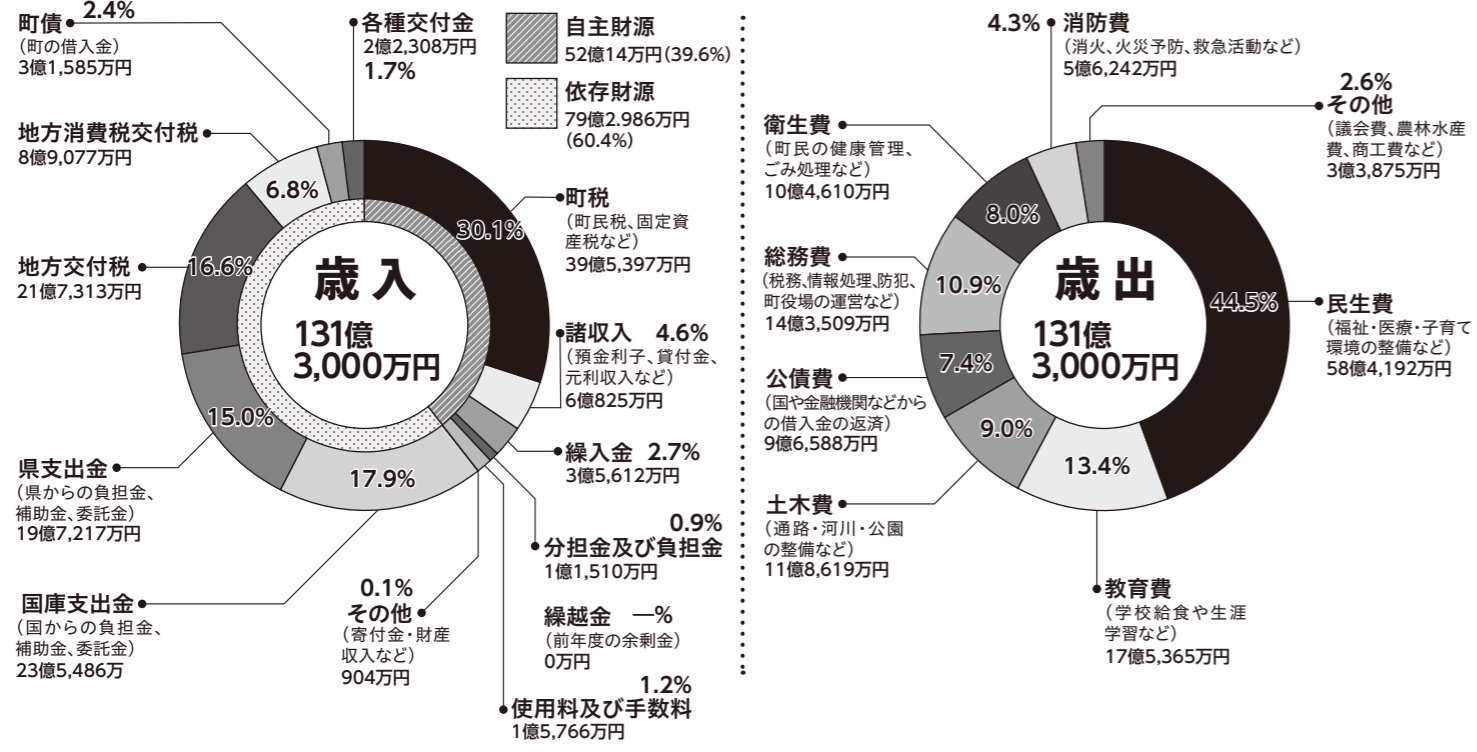
令和5年度一般会計当初予算は、前年度と比較して7億3,200万円の増額となり過去最大の131億3,000万円となりました。

令和5年度の予算編成においては社会保障関連事業費の大幅な増額、物価高騰による委託料や原油価格高騰による光熱費の増額、脱炭素化の取組みとして西原東中学校空調設備設置工事費などが計上されています。

主な事業

中央公民館再整備基本計画策定支援業務委託料、復帰50周年記念資料デジタル化・写真展事業、住民票等コンビニ交付導入事業、障害者自立支援給付費等給付事業、障害児通所給付費等支援事業、後期高齢者医療事業、放課後児童健全育成事業私立分児童運営費負担事業、保育士等処遇改善臨時特例事業、南部広域行政組合負担金事業、こども医療費助成事業、産婦健診事業・産後ケア事業、母子健康包括支援センター事業、農業振興事務運営事業、西原農業振興地域整備計画総合見直業務委託料、小波津川改修事業、都市マスタープラン改定業務委託料、東崎兼久線街路整備事業、西原町立小学校体育館長寿命化事業、西原町立中学校体育館長寿命化事業、幼稚園特別支援教育教諭配置事業学校給食共同調理場事務運営事業、校内自立支援室事業、コロナ対策町立小学校トイレ改修事業、コロナ対策町立中学校トイレ改修事業、コロナ対策西原幼稚園空調・換気設備整備事業

一般会計予算(歳入・歳出)の内訳



令和5年度一般会計・特別会計決算の状況

会計予算比較表		令和5年度	令和4年度	増減額
一般会計		131億3,000万円	123億9,800万円	7億3,200万円
特別会計	国民健康保険	42億7,506万円	41億2,039万円	1億5,467万円
	土地地区画整理事業	2億8,301万円	5億3,411万円	▲2億5,110万円
	後期高齢者医療	3億3,271万円	3億3,260万円	11万円

特集! 地域子育て拠点事業ってなあに?

核家族化や地域のつながりの希薄化などからくる子育ての孤立化、子育てへの不安、負担感、親以外の大人とのふれあいや子ども同士の関わりが減ってしまっていることなど、地域や必要な支援とつながらないといった課題があります。

そのような課題に対応するために地域の子育て家庭が気軽に集まることで子育て中の親子の交流を深めたり、子育ての不安や悩みを相談したりとさまざまな子育て支援サービスを受けることができる場を提供する取り組みです。

「子育て支援センター」や「つどいの場」などの名称で呼ばれています。



地域子育て支援拠点事業4つの基本事業

- 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- 子育てに関する相談・助言の実施
- 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
- 地域子育て関連情報の提供

一人で悩まないで!

子育て中の母親が困っていることや悩みを誰にも相談ができずに抱えてしまい問題になってしまうことが少なくありません。そのような時に母親の孤立を解消するために役立つのが地域子育て支援拠点事業です。西原町においても現在「めぐみの広場」と「まんぼうはうす」の二か所の拠点が令和4年度は延べ457組の多くの親子が利用されています。



利用者の声

- コロナが落ち着いて利用しやすくなった
- 気軽に利用することができて助かっている。



地域での子育てを支える上で必要とされる地域子育て支援センター。その取り組みは現場の保育士の皆さんによって支えられています。保育士の皆さんに感謝すると共に地域における子育て支援施策の更なる充実化に向けて現場の先生方をはじめとし、行政、議会ともに取り組んでまいりたいと思います。



西原白百合保育園 (めぐみの広場)



さざなみ保育園 (まんぼうハウス)